

京都大学 大学院情報学研究科 知能情報学コース 認知システム講座

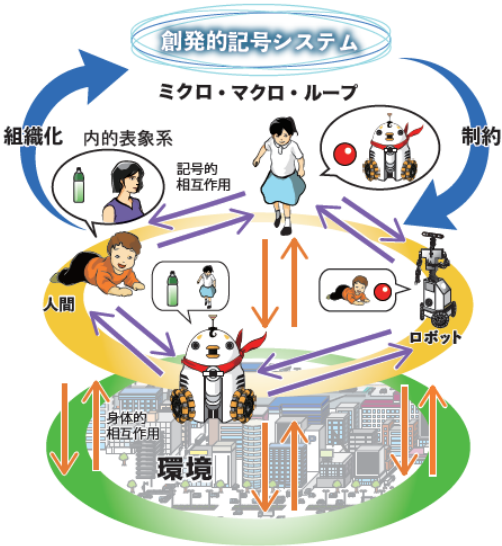
会話情報学分野

教授 谷口忠大, 特定助教 Yuanyuan Jia

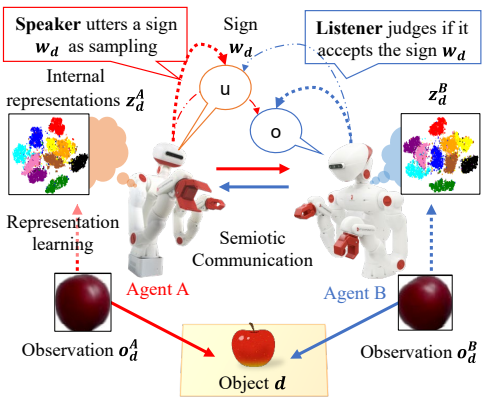
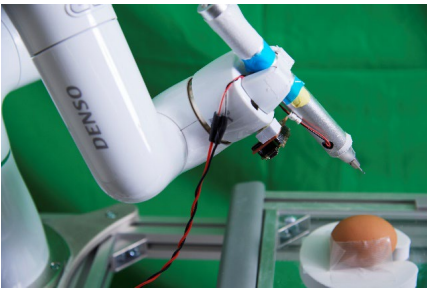
言葉の意味を実世界の中で自らの経験を通して理解して、人と会話し活動できるAI・ロボットを目指して。

人間は実環境の中で適応して身体を用いて知的に振る舞っています。人間の使う言語やそれに基づく会話も、その意味では進化や発達の果てに社会としての私たちが得た知的な機能なのです。本分野では理論に基づく計算器実験、シミュレーション、実ロボットを用いた研究まで幅広く、実世界認知にもとづく言語や記号の創発を知能の核と見た研究を展開しています。研究トピックは記号創発ロボティクス、コミュニケーション創発、マルチモーダル言語理解、認知アーキテクチャ、人間を系に含んだシステムなどを含み、人間と共生するAI・ロボットの創成に向けた研究に取り組んでいます。

研究キーワード：記号創発ロボティクス、コミュニケーション創発、マルチモーダル言語理解、認知アーキテクチャ、人間を系に含んだシステム、確率的生成モデル、マルチモーダル情報処理、言語獲得、概念形成、人工知能、認知発達ロボティクス、世界モデル、自由エネルギー原理、予測学習、言語創発、分散的ベイズ推論、マルチエージェントシステム、強化学習、模倣学習、ロボット学習、コミュニケーション場のメカニズムデザイン、AIと哲学、脳に学ぶ人工知能、意識研究など幅広いテーマに取り組んでいます



記号創発ロボティクス：発達する知能と環境や他社との相互作用を通して変容していくコミュニケーションや社会に対する構成論的アプローチ



世界モデル・自由エネルギー原理に基づく人工知能やロボティクス

実世界におけるロボットのマルチモーダル言語理解

コミュニケーション創発の構成論と大規模言語モデルの理解と活用

メールアドレス：taniguchi@i.kyoto-u.ac.jp
研究室WEB：https://www.emergent-symbol.systems/

